

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社 代表取締役 井上 明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

梅雨のうっとうしい季節がやってこようとしておりますが、皆様お変わりございませんか？これからの梅雨時期、雨具は介護職にとって必需品ですが、雨に打たれながら自転車で利用者様の元へ移動するのも、「自分を待っている利用者様がいるのだ」との思いに駆られ、意外に楽しいものです。

これも、介護職の醍醐味なのかもしれませんね（私だけかも・・・）。

長雨の季節になってまいりますので、体調を崩されませんように、お元気でお過ごし下さい。

### サンライズの物語

チームケアの大切さを、  
この時ほど感じたことはない…  
あるサービス事業者が創った、  
すてきな物語

その方は、ご主人に先立たれ、女手ひとつで娘様を育ててあげた方でした。

ある日、関節リウマチに罹患してしまい、生活するのにとても苦勞されました。症状としては、尺側偏位しており、両手指・両下肢指が内側に折れ曲がり、拘縮もひどく、膝も伸展できないという大変つらい状況です。入浴も、立ったままでないと痛くてたまらないということで、ずっとシャワー浴を続けていました。

ある日、入浴中に転倒してしまい、ADLも下がりベッド上での生活となってしまいました。

何とか自宅で入浴できないか・・・我々は、訪問入浴のご利用を提案致しましたが、拒否の連続でした。

ご本人の意向を尊重しつつ、根気よく提案を続け、やっと初回入浴に繋がった時、物語が生まれます。

入浴後、ベッドに戻ると、その方がポロポロと涙を流されているではありませんか！心配になり、どう

して泣いているのか聞いてみたところ、こんな一言が・・・

「こんなによくしてもらったのは、今までで初めてです。それに感動してしまって・・・」と、涙が止まりません。

入浴スタッフの温かい声掛け、チームワークの良さに、とにかく感動したのだそうです。そして涙もろい私も入浴スタッフも、一緒に泣き始めてしまいました。「そんなに泣かないで！〇〇さんが泣くと私達も涙が止まらなくなるのよ」と言うと、また涙が・・・涙の連鎖反応が止まらないのです。

今までできたことが、病気等によってできなくなる・・・とても無念だと思います。そういう方にとって、訪問入浴サービスの利用は勇気のいることであり、自分の無力さに落胆する方も多いと聞きます。

訪問入浴スタッフは、声掛けや気遣いにより、その気持ちを思いやり、和らげているのです。

私も、何度も初回訪問入浴に立ち合っていますが、いつもながら素晴らしいチームワーク、段取りの良さ、入浴実施時の職員の所作に感激しております。そんな訪問入浴事業所の皆様に対し、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

# 【新しい「仲間」が加わりました】

弊社に、新しい仲間が加わりました。

それは、「カンバン」です。

オシャレなカフェ風にデザインしていただきました。

「介護事業所じゃないみたい」と、好評をいただいております。

ただ、サービスに関しては至って真面目です。

弊社にお立ち寄りの際は、是非注目していただければ幸いです。



## NEWS 今月のニュース

### 福祉、介護職の新人67人を激励 高知市で「合同入職式」



高知県内で福祉、介護職に就いた新入職員が顔をそろえる「合同入職式」が4月14日、高知市の高知城ホールで開かれた。人員不足や離職という業界の悩みを受け、新人同士のつながりや仕事への意識を強めてもらおうと、高知県が初めて企画した。今後も毎年開く予定。

介護職の離職率は2年前の厚生労働省の調査では16・8%と、全産業の数値より4ポイント余り高かった。高知県内では介護職を志す専門学校生も減っており、福祉人材の確保は大きな課題。入職式は、施設の垣根を越えて悩みや思いを話し合える仲間をつくり、職場への定着を図ることも目的にしている。

会場にスーツ姿で集まったのは、18歳から40歳までの67人。大半が専門学校や高校をこの春卒業し、高齢者や障害者を

支える高知県内の40事業所に就職した。

一人一人が尾崎正直知事から激励の言葉を書いた書状を受け取り、代表の川上夏希さん(20)が「幼少期からお年寄りが好きでした。責任感を持ち、地域に貢献したい」とあいさつした。

「先輩」として登壇したケアマネジャーの利谷大輔さん(30)は「離職率は事業所で差がある。意欲を維持する環境があるかどうか。地域や他の事業所との関係にも目を向け、自分の役割を意識するのも大切」と助言。閉会後はマナー研修と食事も開かれ、交流を深めた。

出席した川井一晟さん(20)は「母も同じ介護職。まだ不安もあるけれど、いずれ次の世代に学んだことをつなげるように頑張りたい」と話していた。

<高知新聞 2015.4.17>

## 今月の名言



「正しい」という字は「一つ」「止まる」と書きます。どうか、一つ止まって判断できる人になって下さい

### 坂本金八 (ドラマ「3年B組金八先生」より)

32年も続いた学園ドラマ「3年B組金八先生」の第7シリーズ最終回で、金八先生が生徒に対して言った言葉です。何気なく使っている言葉も、こうやってみると実に奥深いものですね。

私たちもご利用者様のために、健全な運営ができるよう、襟を正してまいります。

## スタッフ紹介

訪問介護事業所  
サービス提供責任者  
**権藤 直美**



### <プロフィール>

平成25年12月入社  
出身地:福岡県  
血液型:A型  
資格:介護福祉士

### <自己紹介>

サンライズに入職し、現在はサービス提供責任者として従事しております。

ヘルパーとして7年間、現場を駆け回ってまいりましたが、いかにせんサービス提供責任者は初めての経験で、不安がたくさんありましたが、諸先輩方の優しい指導のもと、全力で取り組んでおります。

登山で鍛えた根性と、持ち前の明るさを仕事に生かし、これからも邁進していききたいと思います。

(代表・井上より)

「ゴンちゃん」の愛称で、職員から愛され、親しまれております。料理が得意で、いつも一品料理をふるまってくれます。その料理のおいしいこと！その腕とレパートリーの豊富さに、いつも感心して舌鼓を打っております。ご利用者おひとりに対する声かけや気づきが素晴らしく、仕事に対する姿勢もまじめで前向きです。「根性」という言葉、私も大好きな言葉です(笑)

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>